

抱き合う笑顔



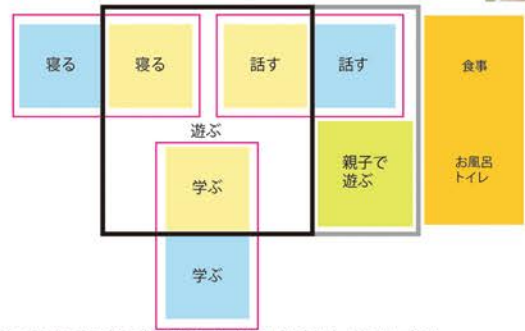
いつも子供と一緒にいる
抱きめたくるインテリア

Planning

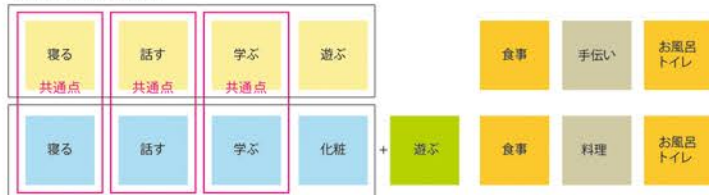
常に家族がもっとそばにいるにはどうしたら良いのでしょうか。また、子供部屋はどうあるべきでしょうか。子供中心の住まい方とはどうあるべきでしょうか。それは、1つ1つの行為を見直す必要があります。しかし、住まいの中では、大人も子供も行為にあまり大差がなく、部屋と言う小さな枠組みの中でもほぼ同じです。改めて、行為を分割し、共通点でまとめ、子供を1番に捉えた構成を考えると、あるべき姿が見えてきました。

クライアント:不動産会社
要望:家族4人で暮らす、マンションの新しい間取りを提案してください。近年の様々な子供の諸問題を解決出来るように限られた面積の中で今まで以上に家族のコミュニケーションが図れるようにしてほしい。インテリアは、北欧テイストをベースに家族が楽しく暮らせるイメージを提案してください。

家族構成
夫婦+小学生の子供2人+子犬



子供が部屋で行う行為



親が部屋で行う行為
家族の絆を深めるため、子供の「遊ぶ」に着目。親の行為にも「遊ぶ」をプラスしました。

親子の共通点の子供の行為を1つにまとめるようにレイアウトすると、子供の「部屋」ではなく、「場所」ができ、それを囲うように寄り添うように「親」がいます。見事に子供が家族の中心的存在になるレイアウトが完成しました。また、新たな共通点「遊ぶ」が、子供の「場所」を広げ、遊び専用の「親子で遊ぶ場所」ができました。



PLAN S=1:60 マンション 専有面積:82㎡

北欧スタイル

インテリアは、家の中で長く過ごすことを大切にしている。北欧ならではのシンプルでナチュラル、機能的だけど温もりを感じ、家族の幸せが伝わってくるインテリアを目指しました。セオリーより少し多めに色を取り入れ、素敵な模様のファブリックや特徴的な照明で目を楽しませてくれるインテリアです。



Bed space

睡眠を促進させる青色

お父さん、お母さん、子供たちとペット、みんなと一緒に寝ることができる場所。クッションやファブリックボードは、シンプルな柄物を選び、かわいらしくしました。色は興奮を抑え、睡眠を促進させる青色で統一しました。



Study space

落ち着きと集中の木目

お父さんは書齋として、お母さんは趣味の本を読んだり、編み物をしたり。子供たちは勉強、分からないときすぐに教えてもらえます。1つの机は三角形、4つで向かい合う1つの正四角形になります。濃い木目の机はお父さんと息子、薄い木目の机はお母さんと娘が使います。本棚は色ガラスと白の木枠で北欧らしさを感じさせます。



Living space

ぬくもりと癒しのナイルブルー

1面ナイルブルーの壁。リラックス作用や安心感を与え、心や身体を癒します。家具は、家族の優しさをイメージし、やわらかくて丸い物を選びました。テーブルは北欧でよく見られる2脚重ねになっているテーブル。ソファは、みんなで足がのびてゆったりくつろげます。照明は北欧を演出するのに相応しいものを選びました。



5年後、10年後の対応

Partition

子供たちが大きくなってくると、家族と離れて一人でいろんなことをしたり、考えたりする機会が多くなってきたり、大人になるためにいろんな心構えが芽生えてきます。子供たちが大きくなったとき、子供たちの部屋をつくれるように間仕切り壁で仕切るように配慮しています。



Hug space

日頃から「抱き合う=ハグ」する喜び、安堵感、楽しさ、落ちつきを体感し、親子の愛情を確かめ合う場所。将来的に欧米諸国のようにハグすることへの抵抗感もなくなればと思います。

子どもをやさしく抱きしめること。それは子どもにとって一番の安心に包まれる瞬間。子どもたちが誰にでも「ぎゅっ」と出て、みんなが幸せになってほしい。小さい子どもは両親とのスキンシップが大好きです。スキンシップをあまり体験せずに育った子は思春期に情緒が乱れたり、攻撃的な性格になるというデータがあります。ハグなどのスキンシップがある家庭で育てられた子どもは幸せな大人になることがハーバード大学の40年に及ぶ研究データから判明しています。

Hug space

抱きしめる幸せ



抱き枕は、抱えているかっこうが、お母さんのお腹の中にいる胎児のかっこうに似ることから、無意識に感覚を思い出して心が落ち着きます。ほかにも、精神的に癒される効果があると実証されていて、精神安定やストレス解消の効果も大きいです。

抱き枕の詰物

各色の抱き枕によって詰物の種類が異なり、違った抱き心地が味わえます。

